

ヴェントサン Q and A

保証期間

保証期間は何年ですか？

ヴェントサンの保証期間はメーカー保証 5 年です。
コントローラを含め、全パーツ一律 5 年です。

実際はどれくらい持つのでしょうか？

ヴェントサンのファンの期待寿命は約 3.5 年 40℃で 7 年です。
実際にはその 2 倍以上ご利用いただけるよう設計しており、ドイツでは 1999 年の販売開始から 20 年が経過した 2019 年でも初期型のファンを使用している物件もございます。

メンテナンス

フィルターは水洗いできますか？

標準フィルターは水洗い可能です。
付着した埃を掃除機などで落としてからそのまま水で洗うか、水で薄めた中性洗剤を使い、手洗いしてください。
中性洗剤を使用した場合はしっかりと洗い流してください。

PM2.5 フィルターは水洗いではなく、掃除機かけをしてください。掃除機で 1.2 か月に 1 度吸引していただくことで、初期効率を落とさずに 1 年間使用可能です。

標準フィルターや蓄熱エレメントの清掃はどの程度の頻度で行うべきですか？

一般的な使用として、蓄熱エレメントは少なくとも年に一度のペースで汚れを確認してください。標準フィルターは約 3 か月、PM2.5 フィルターは 1.2 か月を目安に確認してください。

フィルターは 1 カ所ですか？

メンテナンスしやすい 1 ケ所です。インナーカバーの側面から確認でき、ファン等の取り外しもいらない簡単構造です。

換気システムにとって一番重要なことはメンテナンスです。
メンテナンスを容易に、かつ確実に行っていただくため、フィルターは室内側から見える箇所に 1 カ所配置しています。

フィルターは直接、購入できるのでしょうか？

交換用の標準フィルターや花粉フィルター（PM2.5 対応）をご用意しております。

本ホームページ右上の shopping のページからご利用のフィルターを選択いただければ、アマゾンからご購入いただけます。オンライン決済ができない場合は、弊社へご連絡ください。

フード内部の清掃はしなくても良いのでしょうか？

フード内部の掃除は基本的に不要です。ただ大きな異物が詰まっていると、換気に悪影響を及ぼしますので、可能な限り清掃してください。

ヴェントサンは室内からパーツを取り外しできます、手が届く範囲で室内側からの清掃してください。

輸入品ですが、メンテナンスの部品供給に問題はありませんか？

部品供給は全く問題ございません。

一定量の部品を国内在庫しております。また、メーカーのドイツ・インヴェンター社はヨーロッパ大手のヴェオリューショングループに属しており部品供給についても強力なサポートをいただいております。

商品について

給気だけでもしくは排気するだけといった使い方は可能なのでしょうか？

ヴェントサンには、換気モード（ナイトパーズモード）という機能があります。

この機能は、例えば夏季の夜間など室内温度が室外温度より高いときなどに、室内の熱を外に逃がし、室外の涼しい空気を室内に入れます。

このモードでは給気と排気が自動切り替えとならず、一方通行運転となります。

つまり、一台が給気している間はペアのもう一台は排気を続けます。

ただし、これを長期に続けると熱交換はしなくなりますのでご注意ください。

今までに使用されているユーザーの感想を教えてください

ヴェントサンは、他の換気システムにはない特徴はもとより、そのメンテナンスの容易さもユーザー様よりご支持いただいております。施工実績(リンク)のページをぜひご参照ください。

また、横浜パッシブハウスにおいてはテレビ会社の取材を受け、本システムが入居者様よりご評価いただき、番組の中で詳しく紹介されました。

運転時のファンの音はどのくらいですか？

多く販売実績のあるヴェントサン SP および JW の、給排気時の騒音値は以下です。

運転モード 弱： 19dB(A) ※「木々の触れ合う音」「超静音型パソコン」と同程度

運転モード 中： 28dB(A) ※「夜の静かな住宅地」と同程度

運転モード 強： 41dB(A) ※「図書館」と同程度

また、消音性能の高いヴェントサン ZERO の場合は、

運転モード 弱： 13dB(A) ※「人間の呼吸音」と同程度

運転モード 中： 21dB(A) ※「木々の触れ合う音」「超静音型パソコン」と同程度

運転モード 強： 29dB(A) ※「夜の静かな住宅地」と同程度

ただし、カタログ表示のデシベル（dB）数と現実ではかなり違いがあることにご注意ください。

例えば、低速運転の 19dB では深夜の就寝時でもほとんど聞こえませんが、中速運転の 28dB では気になる方もいらっしゃるかもしれません。

また、測定方法によってもかなりの違いが生じます。

ヴェントサンの騒音特性は最も厳しいとされるドイツ工業規格（DIN）やドイツ建築研究所で測定・認定されたものです。

寒冷地での仕様について教えてください

ヴェントサンは全機種に凍結防止機能を標準装備しています。

ファンに内蔵された温度センサーが換気装置の温度を測定し、気温が+5℃を下回ると、換気装置が自動的に排気モードになり、蓄熱エレメントが再び温められます。温暖地においても大寒波が来るなど、気象条件は変化しております。そのため温暖地であっても、寒冷地と同様のシステムをご利用いただくことで、寒波の日など一番性能が発揮されるときに、ベストな状態で換気できるよう設計しています。

ヴェントサンはリフォームに使えますか？

もともと、デ・セントラル熱交換第一種換気システムは、リフォーム、狭小住宅、集合住宅に使用されるべく生まれた側面があります。

ドイツでもヴェントサンの直近の実績はリフォーム 50%、新築 50%です。

まだ日本ではリフォームでのご採用の割合はまだ 10%程の状態です。

リフォームでの注意点はありますか？

1. 既存の設置部分を使用できますが、開口部は $\phi 160$ mm 以上必要になります。
2. 各換気ユニットの制御を有線で行いますので、配線が必要です。
3. 既存のアウトフードやインナーカバーは風量や耐風圧の設計値が違うので使用できません。同時に交換をお願いいたします。
4. 建物の気密性能を基本的に本州では C 値 = 1 以下、北海道では 0.5 以下に維持することをお勧めします。

ダクトを用いない分、建物の気密・断熱性能に左右されますか？

確かに左右されます。

しかし、ダクト式熱交換換気を用いたとしても同様の問題は生じます。

熱交換をする場所が、ダクトを通した熱交換ユニットか、ヴェントサンの蓄熱エレメントなのかの違いです。気密性能が良くない建物だと、どちらにしても室内から空気（熱）は出て行ってしまいます。

システムを最大限有効に活用するため、厳寒地域での気密性能（C 値）を $0.5\text{cm}/\text{m}^2$ 以下に、寒冷地域での気密性能（C 値）を $1\text{cm}/\text{m}^2$ 以下で使用していただきますようお願いしています。

特に、当システムの周辺には断熱欠損が無いご注意ください。